

貧酸素水塊速報 (2023年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター ○ 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 ○ (国)国立環境研究所
 モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和5年10月10日観測結果

内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。貧酸素水塊は内湾北部に分布していました(図1)。水温は、表層底層ともに20～23℃で、表層と底層の差がほとんどなくなりました。今後はさらに鉛直混合が進み、貧酸素水塊は収束へ向かうと考えられます。

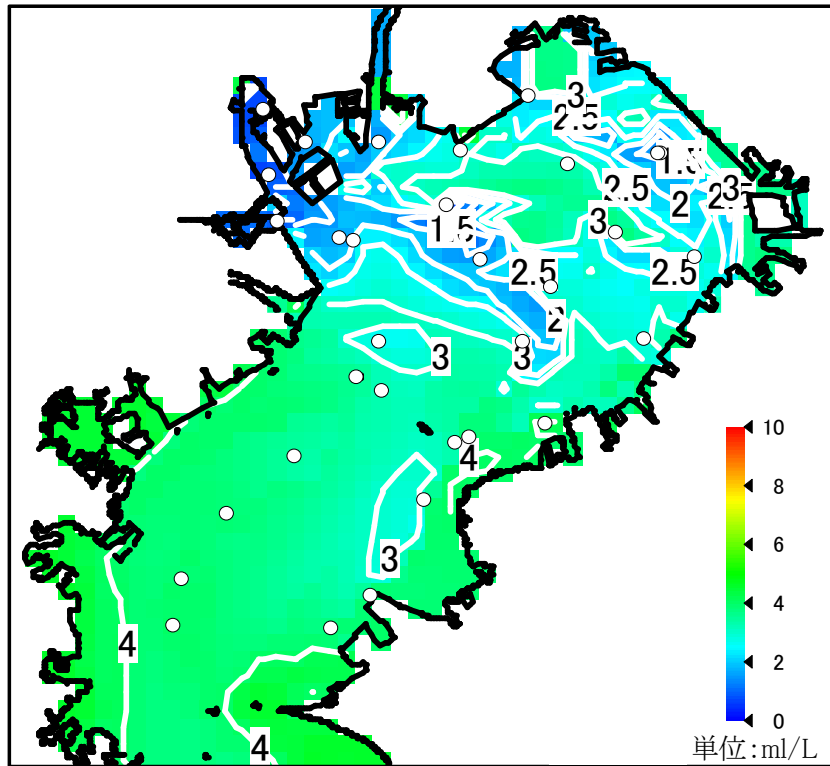


図1 底層の溶存酸素量分布

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30～40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	